

[資 料]

近代日本金融史文献目録・前編（ア～ソ）

—— 北海道金融史関係資料を中心として ——

吉 田 賢 一

Bibliography of Literature on the Financial History in Modern Japan (the first volume)

YOSHIDA Ken'ichi

本史料は以下に掲げる小論の参考資料として、北海道を中心に近代日本の金融史に関連する諸文献を渉猟したものである。もともとは個人用として作成したものであり、脱漏の少ないことを懸念・危惧もするが、拙論の通読はもとより、広範な金融史研究の一助に資されたい。

- ※ 「金融危機下の北海道金融界と銀行合同 —— 百十三銀行・(旧)北海道銀行・北海道拓殖銀行を中心として ——」 地方金融史研究会編『地方金融史研究』第31号（社団法人全国地方銀行協会，2000年3月25日）所収，pp.73-105，計33頁。
- ※ 「両大戦間における北海道内地方銀行（上）—— 函館銀行・百十三銀行・(旧)北海道銀行を中心として ——」 同上誌第32号（2001年3月25日）所収，pp.29-53，計25頁。
- ※ 同上（中），同上誌第33号（2002年3月25日）所収，pp.38-74，計37頁。
- ※ 同上（下1），同第34号（2003年3月25日）所収，pp.17-35，計19頁。
- ※ 同上（下2），同第35号（2004年3月25日）に収録予定。
- ※ 「北海道における銀行合同 —— 函館銀行・百十三銀行・(旧)北海道銀行の合同関係を中心として ——」 石井寛治・杉山和雄編『金融危機と地方銀行 —— 戦間期の分析』（東京大学出版会，2001年12月14日）所収，第6章，pp.133-154，計22頁。
- ※ 地方金融史研究会『日本地方金融史』（日経金融新聞編，日本経済新聞社，2003年6月23日）「北海道」編，pp.7-17，計11頁。

凡例

1. 発行時期は，論文だけでなく著書についても「月」まで示すことを原則としたが，判明しなかったものについては，年月の部分をあえて空白にした。
2. 自社発行の社史については書名(会社名・銀行名)の50音順によって示し，書名のあとに著編者名を記した。
3. 書名や著編者名が旧漢字の場合，書名にのみ旧漢字を使用した。

【ア】

青木一男『聖山随想』日本経済新聞社, 1959年1月。

——『わが九十年の生涯を顧みて』講談社, 1981年11月。

青木一男後援会編『青木一男 その信念と行動』聖山会, 1970年6月。

青木得三『若槻禮次郎・濱口雄幸』(三代宰相列伝)時事通信社, 1958年12月:復刻版(日本宰相列伝11)

細川隆元監修, 同社, 1986年1月。

——『おもひで』大蔵財務協会, 1966年 月。

明石照男『明治銀行史』(『現代金融経済全集』第33巻)改造社, 1935年8月。

明石照男・鈴木憲久『日本金融史』第1巻「明治編」東洋経済新報社, 1957年12月。

——第2巻「大正編」同社, 1958年2月。

——第3巻「昭和編」同, 1958年12月。

秋田博『凜の人 井上準之助』講談社, 1993年5月。

——『銀行ノ生命ハ信用ニ在リ——結城豊太郎の生涯』日本放送出版協会, 1996年3月。

浅井良夫「1920年銀行法から戦後金融制度改革へ」後掲, 伊藤ほか編『金融危機と革新』所収, 第5章。

——『戦後改革と民主主義——経済復興から高度成長へ』吉川弘文館, 2001年1月。

朝尾直弘(ほか12名)編『岩波講座 日本歴史』第14巻「近代1」岩波書店, 1975年8月。

——第15巻「近代2」同書店, 1976年1月。

——第16巻「近代3」同, 1976年6月。

——第17巻「近代4」同, 1976年12月。

——第18巻「近代5」同, 1975年9月。

——第19巻「近代6」同, 1976年2月。

——第20巻「近代7」同, 1976年7月。

——第21巻「近代8」同, 1977年1月。

——第22巻「現代1」(敗戦～占領期)同, 1977年4月。

——第23巻「現代2」(日米安保体制・新安保体制期)同, 1977年5月。

朝尾直弘(ほか5名)編『岩波講座 日本通史』第16巻「近代1」(1850年代～70年代)岩波書店, 1994年1月。

——第17巻「近代2」(1880年代～1900年代)同書店, 1994年5月。

——第18巻「近代3」(1910年代～30年代)同, 1994年7月。

——第19巻「近代4」(1940年代)同, 1995年3月。

——第20巻「現代1」(1950年代～60年代)同, 1995年7月。

——第21巻「現代2」(1970年代～90年代)同, 1995年8月。

朝倉孝吉『明治前期日本金融構造史』(金融経済研究所研究叢書1)岩波書店, 1961年8月。

——『日本金融通史』Ⅰ「明治・大正篇」文庫1, 日本経済評論社, 1978年10月。

——Ⅱ「昭和篇」文庫2, 同社, 1978年10月。

——『新編 日本金融史』同, 1988年6月。

——「岩崎小彌太の経営理念——成蹊学園との関係にふれて——」『成蹊大学経済学部論集』第19巻第2号(1989年3月)所収:後掲, 朝倉『蹊 その二』にも収録。

——『蹊(こみち)』私家版(製作・創文社)1981年9月。

——『蹊 その二』私家版(製作・三友社)2000年2月。

朝倉孝吉編『両大戦間における金融構造』御茶の水書房, 1980年2月。

浅田政広『満州事変以後の為替相場と物価』北海道大学『経済学研究』第24巻第1号(1974年3月)所収。

——「特別円(為替)決済制度について」『旭川大学紀要』第10号(19 年 月)所収。

——『北海道金鉱山史研究』北海道大学図書刊行会, 1999年2月。

——「『北海道金鉱山史研究』綱要(補遺——金政策の変遷と北海道の金鉱山——)」北海道大学『経済学研究』第49巻第4号(2000年3月)所収。

- 朝日ジャーナル編『昭和史の瞬間』上・下巻，朝日新聞社，1966年5月，7月：復刻版，選書11・12，同社，1974年5月，7月。
- 朝日新聞経済部編『昭和財界史』（『朝日経済年史』臨時特輯）朝日新聞社，1936年9月。
- 朝日新聞社編『資料 明治百年』朝日新聞社，1966年11月。
- 浅利桂一郎『鬼才福沢桃介の生涯』日本放送出版協会，2000年10月。
- 麻生大作『高橋是清伝』高橋是清伝刊行会，1929年1月。
- 尼子止『平民宰相 濱口雄幸』寶文館，1930年1月。
- 新井真次『戦前の円為替について』（日経調査資料66-6）日本経済調査協議会，1966年6月。
- 『両大戦間における円為替 —— 国際情勢を背景に』（『東銀調査資料』第58号）東京銀行調査部，1970年2月。
- 荒俣宏『奇っ怪紳士録』ライブラリー27，平凡社，1993年11月：初出は同「奇っ怪紳士録」『Q A』（平凡社）1986年1月号～1988年6月号所収，および「ミノタウロス」『求人タイムス』（学生援護会）1985年7月11日号～1986年4月17日号所収。
- 有沢広巳監修『日本産業百年史』（山口和雄以下5名編集）日本経済新聞社，1966年11月：普及版『日本産業百年史』上「開国から太平洋戦争まで」，下「復興から高度成長まで」新書57・58，同社，1967年4，5月：復刻版『日本産業史』1（開国から太平洋戦争まで），2（復興期から高度成長期まで）文庫497・498，同社，1994年6月。
- 『昭和経済史』（安藤良雄以下8名編集）日本経済新聞社，1976年12月：普及版『昭和経済史』上（改元-昭和10年代），下（昭和20-40年代）新書326・327，同社，1977年1月：復刻版『昭和経済史』上（改元-昭和10年代），中（昭和20-40年代）文庫490・491，同社，1994年1月。下巻は「三橋規宏・内田茂男」の項を参照。
- 有竹修二『昭和経済側面史』河出書房，1952年12月。
- 『昭和大蔵省外史』上巻，津島壽一監修，昭和大蔵省外史刊行会，1967年3月。
- 中巻，加屋興宣監修，同会，1969年9月。
- 『昭和の宰相』朝日新聞社，1967年4月。
- 有吉新吾『金解禁 —— 昭和恐慌と人物群像』西田書店，1987年10月。
- 安藤良雄編『昭和経済史への証言』上・中・下巻，毎日新聞社，1965年11月，1966年1月，8月：復刻版，同編『昭和史への証言』全5巻，原書房，1993年5月，6月，8月，10月，12月。
- 『日本経済政策史論』上・下巻，東京大学出版会，1973年6月，1976年3月。
- 『両大戦間の日本資本主義』同出版会，1979年1月。

【イ】

- 家長三郎（ほか12名）編『岩波講座 日本歴史』第14巻「近代1」岩波書店，1967年11月。
- 第15巻「近代2」同書店，1967年12月。
- 第16巻「近代3」同，1967年12月。
- 第17巻「近代4」同，1968年1月。
- 第18巻「現代1」同，1968年1月。
- 第19巻「現代2」同，1968年2月。
- 第20巻「現代3」同，1968年2月。
- 第21巻「現代4」同，1968年3月。
- 池井優・波多野勝・黒沢文貴編『濱口雄幸 日記・随感録』みすず書房，1991年3月。
- 池田清『海軍と日本』新書632，中央公論社，1981年11月。
- 石井寛治『日本経済史』東京大学出版会，1976年11月：第2版，1991年3月。
- 『近代日本金融史序説』東京大学出版会，1999年6月。
- 石井寛治編『日本銀行金融政策史』東京大学出版会，2001年2月。
- 石井寛治・海野福寿・中村政則編『近代日本経済史を学ぶ』上・下巻，選書363・364，有斐閣，1977年10月，9月。

石井寛治・杉山和雄編『金融危機と地方銀行——戦間期の分析』東京大学出版会, 2001年12月。

石井寛治・原朗・武田晴人編『日本経済史』第1巻「幕末維新时期」東京大学出版会, 2000年10月。

—— 第2巻「産業革命期」同会, 2000年12月。

—— 第3巻「两大戦間期」同, 未刊。

—— 第4巻「戦時・戦後期」同, 未刊。

—— 第5巻「高度成長期」同, 未刊。

—— 第6巻「日本経済史研究入門」同, 未刊。

石井修 『世界恐慌と日本の「経済外交」一九三〇～一九三六年』勁草書房, 1995年11月。

石川通達・石田定夫『日本金融年表・統計』(現代金融叢書)東洋経済新報社, 1981年1月。

石橋湛山『日本金融史』(『現代金融経済全集』第12巻)改造社, 1936年9月:同書,後掲,石橋湛山全集編纂委員会編『石橋湛山全集』第11巻所収。

—— 『湛山回想』毎日新聞社, 1951年10月:復刻(増補改訂)版,長辛男解説,文庫,岩波書店, 1985年11月。

—— 『石橋湛山評論選集』東洋経済新報社, 1990年6月。

石橋湛山全集編纂委員会編『石橋湛山全集』第5巻, 東洋経済新報社, 1971年6月。

—— 第6巻, 同社, 1971年8月。

—— 第7巻, 同, 1971年9月。

—— 第11巻, 同, 1972年2月。

石浜知行『特殊金融機関史論』育生社, 1937年6月。

一万田尚登 伝記・追悼録刊行会編『一万田尚登[伝記・追悼録]』徳間書店, 1986年1月。

逸見謙三ほか5名編『経済発展と金融——理論・政策・歴史』(朝倉孝吉先生還暦記念論文集)創文社, 1982年9月。

伊藤修 『日本型金融の歴史的構造』東京大学出版会, 1995年 月。

伊藤隆 『昭和初期政治史研究』東京大学出版会, 1969年5月。

—— 『昭和十年代史断章』歴史学選書4, 同会, 1981年9月。

—— 『昭和史をさぐる』上・下巻, 光村図書出版, 1984年3月:復刻版, 文庫, 朝日新聞社, 1992年1月。

伊藤正直『日本の対外金融と金融政策 1914～1936』名古屋大学出版会, 1989年12月。

伊藤正直・霧見誠良・浅井良夫編『金融危機と革新——歴史から現代へ』日本経済評論社, 2000年7月。

伊東光晴・長幸男編『経済の思想』(『戦後日本思想体系』8)筑摩書房, 1971年9月。

伊藤由三郎編『金輸出禁止史——金解禁問題の理論と実際』銀行問題研究会(大阪市北区曾根崎中)1929年1月。

犬養道子『ある歴史の娘』文庫, 中央公論社, 1980年10月。

井上準之助『戦後に於ける我国の経済及金融』(大正13年度東京商科大学特別講演, 演題「戦時及戦後に於ける我国の対外金融」)岩波書店, 1925年5月。

—— 『我国際金融の現状及改善策』(大正15年度京都帝国大学経済学部特別講演, 演題「我国際金融の現状及改善策」)岩波書店, 1926年7月。

井上準之助論叢編纂会編『井上準之助論叢』第1巻(著書)井上準之助論叢編纂会(横浜正金銀行東京支店内)1935年4月:復刻版, 井上準之助論叢編纂会編『井上準之助〔1〕論叢一』(明治百年史叢書315)原書房, 1982年9月。

—— 第2巻(演説・講演)同会, 1935年4月:復刻版, 同会編『井上準之助〔2〕論叢二』(同叢書316)同書房, 1982年10月。

—— 第3巻(演説・講演)同会, 1935年4月:復刻版, 同『井上準之助〔3〕論叢三』(同叢書317)同書房, 1982年11月。

—— 第4巻(論文・日記・書翰・雑録)同会, 1935年4月:復刻版, 同『井上準之助〔4〕論叢四』(同叢書318)同書房, 1982年12月。

—— 『井上準之助傳』(井上準之助論叢附録)青木得三執筆, 同会, 1935年4月:復刻版, 同『井上準之助〔5〕伝記』(同叢書319)宇田正解題, 同書房, 1983年3月。

—— 『清溪おち穂』（井上準之助追悼集）清水浩執筆，同会，1938年2月。

井上晴丸・宇佐美誠次郎『国家独占資本主義論』潮流社，1950年 月：改訂版，同『危機における日本資本主義の構造』岩波書店，1951年12月。

井上光貞・永原慶二・児玉幸多・大久保利謙編『日本歴史体系』第4巻「近代Ⅰ」（幕末・維新时期～大正初期）山川出版社，1987年5月。

—— 第5巻「近代Ⅱ」（一次大戦～戦後）同社，1989年8月。

井上光貞（ほか5名）編『日本の歴史』第19巻「開国と攘夷」小西四郎執筆，中央公論社，1966年 月：文庫版，中央公論社，1974年7月。

—— 第20巻「明治維新」井上清執筆，同社，1966年9月：文庫版，同社，1974年7月。

—— 第21巻「近代国家の出発」色川大吉執筆，同社，1966年11月：文庫版，同社，1974年8月。

—— 第22巻「大日本帝国の試煉」隅谷三喜男執筆，同社，1966年11月：文庫版，同社，1974年8月。

—— 第23巻「大正デモクラシー」今井清一執筆，同社，1966年12月：文庫版，同社，1974年9月。

—— 第24巻「ファシズムへの道」大内力執筆，同社，1967年1月：文庫版，同社，1974年9月。

—— 第25巻「太平洋戦争」林茂執筆，同社，19 年 月：文庫版，同社，1974年10月。

—— 別巻5「年表・地図」児玉幸多・仲野浩・斎藤忠・安達淑子執筆，同社，1967年9月：文庫版，同社，19 年 月。

猪木正道『軍国日本の興亡——日清戦争から日中戦争へ』新書1232，中央公論社，1995年3月。

今村武雄『評伝 高橋是清』財政経済弘報社，1950年11月。

—— 『高橋是清』（三代宰相列伝）時事通信社，1958年4月：復刻版（日本宰相列伝8）細川隆元監修，同社，1985年12月。

—— 『池田成彬伝』慶応通信，1962年9月。

今村忠男『軍票論』商工行政社（東京市神田区小川町，同所・高山書院発売）1941年9月。

伊牟田敏充『銀行整理と預金支払』地方金融史研究会編『地方金融史研究』第27号（社団法人全国地方銀行協会，1996年3月）所収。

—— 『昭和金融恐慌の構造』経済産業調査会，2002年3月。

伊牟田敏充編『戦時体制下の金融構造』日本評論社，1991年2月。

岩井良太郎『三井・三菱物語』千倉書房，1934年6月。

—— 『三菱コンツェルン読本』（「コンツェルン全書」Ⅲ）1937年4月：復刻版，「日本コンツェルン全書」第3巻，日本図書センター，1999年1月。

『岩崎小彌太傳』同伝編纂委員会編・発行，1957年12月：復刻版，東京大学出版会，1979年 月。

『岩崎俊彌』故岩崎俊弥氏伝記編纂会（旭硝子株式会社内）編・発行，1932年10月。

『岩崎久彌傳』同伝編纂委員会編・発行，1961年12月：復刻版，東京大学出版会，1979年 月。

『岩崎彌太郎傳』上・下巻，岩崎弥太郎・岩崎弥之助伝記編纂会編・発行，1967年 月：復刻版，同上。

『岩崎彌之助傳』上・下巻，同上，1971年 月：復刻版，同上。

岩波書店編集部編『近代日本総合年表』勝本清一郎以下15名編集，岩波書店，1968年11月：第二版，同書店，1984年 月。

【ウ】

上塚司編『高橋是清自伝』千倉書房，1936年2月：文庫版，上・下巻，小島直記解説，中央公論社，1976年7，8月。

宇佐美吾吾『松永安左エ門傳』（『日本財界人物伝全集』第8巻）東洋書館，1954年5月。

—— 『電気の鬼——松永安左エ門喧嘩控』青蛙社，1957年12月。

臼井勝美『満州事変——戦争と外交と』新書377，中央公論社，1974年11月。

—— 『日中戦争——和平か戦線拡大か』新書133，中央公論社，1967年1月。

—— 『新版 日中戦争——和平か戦線拡大か』新書1532，中央公論新社，2000年4月。

宇田田直義『幣原喜重郎』（三代宰相列伝）時事通信社，1958年5月：復刻版（日本宰相列伝17）細川隆元監

修，同社，1985年10月。

宇野弘蔵監修『講座 帝国主義の研究——両大戦間におけるその再編成』6「日本資本主義」林健久・山崎広明・柴垣和夫執筆，青木書店，1973年6月。

【エ】

エコノミスト編集部編『大正・昭和経済史——「エコノミスト」半世紀の歩み』毎日新聞社，1979年3月。
永廣顕「金融危機と公的資金導入——1920年代の金融危機への対応——」前掲，伊藤ほか編『金融危機と革新』所収，第4章。

【オ】

大石嘉一郎『自由民権と大隈・松方財政』東京大学出版会，1989年2月。

大石嘉一郎編『日本帝国主義史』1「第一次大戦期」東京大学出版会，1985年1月。

—— 2「世界大恐慌期」同会，1987年12月。

—— 3「第二次大戦期」同，1994年12月。

—— 『戦間期日本の対外経済関係』日本経済評論社，1992年6月。

大内兵衛『日本財政論 公債篇』（『経済学全集』第22巻）改造社，1932年10月。

大江志乃夫『日本の参謀本部』新書765，中央公論社，1985年5月。

—— 『張作霖爆殺——昭和天皇の統帥』新書942，中央公論社，1989年10月。

大久保利謙（ほか4名）編『近代史史料』吉川弘文館，1960年11月。

大蔵省銀行局編『銀行便覧』大蔵省銀行局，1918年3月。

—— 『中央銀行制度』大蔵省印刷局，1969年3月。

大蔵省金融制度調査会編『金融機関発達史』板垣書店，1949年6月。

大蔵省財政金融研究所財政史室編『大蔵省史——明治・大正・昭和』全4巻，大蔵財務協会，1998年10月。

大蔵省昭和財政史編集室編『昭和財政史』第1巻「総説」大内兵衛執筆，東洋経済新報社，1965年 月。

—— 第9巻「通貨・物価」西村紀三郎・大島清執筆，同社，1956年6月。

—— 第10巻「金融（上）」（金融恐慌から満州事変まで）大島清執筆，同，1955年1月。

—— 第11巻「金融（下）」（日華事変から太平洋戦争まで）宇佐美誠次郎執筆，同，1957年12月。

—— 第13巻「国際金融・貿易」大島清・宇佐美誠次郎執筆，同，1963年4月。

大蔵省内明治財政史編集室編『明治財政史』第11巻「通貨1」明治財政史発行所，1927年9月：復刻版，吉川弘文館，1971年 月。

—— 第12巻「通貨2，銀行1」同所，1927年10月：復刻版，同上。

—— 第13巻「銀行2」同所，1927年11月：復刻版，同上。

—— 第14巻「銀行3」同所，1927年12月：復刻版，同上。

大蔵省・日本銀行編『財政経済統計年報』大蔵財務協会，1948年12月。

大蔵省百年史編集室編『大蔵省百年史』上巻（明治2年－昭和4年）財団法人大蔵財務協会，1969年10月。

—— 下巻（昭和4年－昭和44年）同会，1969年10月。

—— 別巻（機構図，幹部職員変遷表，統計，年表）同，1969年10月。

大蔵省編『明治大正財政史』第13巻「通貨」（通貨・預金部資金）財政経済学会，1939年11月：復刻版，経済往来社，1959年11月。

—— 第14巻「銀行（上）」（総説・日本銀行）同会，1937年11月：同社，1957年5月。

—— 第15巻「銀行（中）」（横浜正金銀行・日本勧業銀行・農工銀行）同，1938年7月：同，1957年7月。

—— 第16巻「銀行（下）」（北海道拓殖銀行・日本興業銀行・朝鮮銀行・台湾銀行・貯蓄銀行・普通銀行・銀行以外の金融機関）同，1938年12月：同，1957年8月。

—— 第17巻「金融」（金融市場・物価・対外金融）同，1940年4月：同，1957年10月。

—— 『財政金融統計月報』第5号「国際収支特集」大蔵財務協会，1950年2月。

大蔵省理財局銀行課編『銀行便覧』大蔵省理財局銀行課，1911年2月。

大蔵省理財局編『銀行総覧』各年版。

※本書の発行所は主として明治期は高島活版所、大正期は東京製本合資会社・銀行総覧発行所、昭和期は内閣印刷局と推移した。

——『金融事項参考書（昭和四年調）』川口印刷所出版部，1929年12月。

——『金融事項参考書（昭和十七年調）』内閣印刷局，1942年12月。

※本書は「昭和十六年調」についてのみ「大蔵大臣官房企画課編」。発行所は「昭和二年調」までは大蔵省または大蔵省印刷局，「昭和三年調」は日本評論社，「昭和四年調」は川口印刷所出版部，「昭和五年調」以降「昭和十七年調」（終巻）まで内閣印刷局。

大河内一男・内藤勝編『日本の経済——戦前・戦後』（鈴木武雄教授還暦記念論文集）東洋経済新報社，1963年10月。

大阪銀行協会編『大阪銀行協会史』大阪銀行協会，1967年11月。

大島清『日本恐慌史論』上「明治年代の恐慌」東京大学出版会，1952年12月。

——下「第一次大戦後の恐慌」同会，1955年9月。

——『高橋是清——財政家の数奇な生涯』新書181，中央公論社，1969年2月。

大島堅造『一銀行家の回想』，1963年 月：復刻版，浅井孝二（住友銀行相談役）解説，図書出版社，1990年1月。

大杉一雄『日中十五年戦争史——なぜ戦争は長期化したか』新書1280，中央公論社，1996年1月。

大谷健『大蔵大臣の昭和史』（『権力者の人物昭和史』7）ビジネス社，1986年2月。

大月高『銀行と金融債』柏葉社，1950年7月。

大塚久夫・安藤良雄・松田智雄・関口尚志編『資本主義の形成と発展』（山口和雄博士還暦記念論文集）東京大学出版会，1968年3月。

大西理平編『福澤桃介翁傳』福澤桃介翁傳記編集所，1939年2月。

大道弘雄編『日本経済統計総観』（創刊50周年記念）朝日新聞社，1930年4月：復刻版，朝日新聞社編『明治・大正期 日本経済統計総観』上・下巻，中村隆英解題，並木書房，1999年10月。

岡崎哲二『日本の工業化と鉄鋼産業——経済発展の比較制度分析』東京大学出版会，2001年 月。

岡田章雄（ほか9名）編『人物・日本の歴史』10「維新の群像」遠山茂樹編，読売新聞社，1965年12月：新装版，読売新聞社，1973年5月。

——11「明治のにない手〔上〕」遠山茂樹編，同社，1966年1月：同社，1973年7月。

——12「明治のにない手〔下〕」小西四郎編，同，1966年2月：同，1973年7月。

——13「市民の登場」小西四郎編，同，1966年7月：同，1973年8月。

——14「戦争の時代」林茂編，同，1966年10月：同，1973年10月。

岡田和喜『貯蓄奨励論——為替取組と支店銀行制度の展開』日本経済評論社，2001年3月。

——『地方銀行史論——為替取組と支店銀行制度の展開』日本経済評論社，2001年3月。

岡田健蔵編『初代渡辺孝平伝』（市立函館図書館叢書 第12輯）市立函館図書館，1939年12月。

岡田俊平『明治前期の正貨政策』東洋経済新報社，1958年 月。

——『明治期通貨論争史研究』千倉書房，1975年3月。

岡田益吉『危ない昭和史——事件臨場記者の遺言』上・下巻，光人社，1981年3月。

緒方潤『銀行破綻物語——某休業銀行重役の懺悔録』文雅堂，1927年：朝倉孝吉復刻・解説「ある頭取の懺悔——昭和金融恐慌で破綻した銀行の結果——」第1回～8（最終）回『エコノミスト』（毎日新聞社，1997年11月4日，11日，18日，25日，12月2日，9日，16日，23日）所収。

岡本信男『北海の雲——堤清六 波瀾の生涯』いさな書房，1987年6月。

小川功『地方企業集団の財務破綻と投機的経営者——大正期「播州長者」分家の暴走と金融構造の病弊』（『滋賀大学研究叢書』第32号）2000年2月。

——『破綻銀行経営者の行動と責任——岩手金融恐慌を中心に』（『滋賀大学研究叢書』第34号）2001年3月。

——『企業破綻と銀行破綻——負の連鎖とリスク増幅のメカニズム』九州大学出版会，2002年2月。

小倉政太郎編『東洋経済新報 言論六十年』東洋経済新報社，1955年11月。

小倉博編『斎藤善右衛門翁伝』斎藤報恩会（仙台市大聖寺裏門通3番地）1928年12月。

『小樽區史』渡部義頭，博文社，1914年10月：同復刻版，名著出版，1973年9月。

『小樽市史』第1巻（明治維新以前，開拓史及び札幌県時代）小樽市編，同市，1958年4月：復刻版，国書刊行会，1981年10月。

—— 第2巻（郡役所時代，区制時代・前編）同上，1963年2月：復刻版，同上。

—— 第3巻（区制時代・後編）同上，1964年12月：復刻版，同上。

—— 第6巻（市制時代・後編）同上，1969年12月：復刻版，同上。

小野一一郎編『戦間期の日本帝国主義』世界思想社，1985年10月。

小野一一郎・吉信東編『両大戦間期のアジアと日本』（現代資本主義叢書18）大月書店，1979年12月。

小野義彦「金融寡頭制の確立」前掲，家長ほか編『岩波講座 日本歴史』第20巻所収。

【カ】

改造社編輯部編『貨幣金融統計資料解説』（『現代金融経済全集』第34巻）改造社，1935年12月。

風早八十二『日本社会政策史』日本評論社，1937年 月：復刻版，文庫，2分冊，青木書店，1951年2月。

梶西光速・大島清・加藤俊彦・大内力『日本における資本主義の発達』上・下巻，東京大学出版会，1950年8月：合本版，同会，1958年5月。

梶西光速・大島清・加藤俊彦・大内力編『日本における資本主義の発達・年表』東京大学出版会，1953年1月。

梶西光速・加藤俊彦・大島清・大内力『日本資本主義の成立』全2冊：『双書 日本における資本主義の発達』1・2，「封建社会の崩壊，明治維新（1868年まで）」「資本の原始的蓄積（1868-90年）」，東京大学出版会，1970年-77年。

—— 『日本資本主義の発展』全3冊：『双書 日本における資本主義の発達』3-5，「産業資本の確立（1890-1900年）」「産業資本の展開（1900-10年）」「独占資本の形成（1910-20年）」，同出版会，同年。

—— 『日本資本主義の没落』全8冊：『双書 日本における資本主義の発達』6-13，「独占資本の展開（1920-27年）」「全般の危機下の独占資本（1927-31年）」「国家独占資本主義化の過程（1931-37年）」「侵略と軍国主義の崩壊（1937-45年）」「独占資本の復活（1945-50年）——いわゆる経済の民主化」「独占資本の復活（1945-50年）——崩壊より再建へ」「ブームから沈滞へ（1950-54年）」「経済の高度成長とその破綻（1955-64年）」，同，同。

梶西光速編『日本経済史大系』5「近代 上」東京大学出版会，1965年1月。

—— 同6「近代 下」同会，1965年2月。

粕谷誠『豪商の明治——三井家の家業再編過程の分析』東京大学出版会，2002年4月。

片岡直温『回想録』西川百子居文庫（京都市左京区北白川仕伏町）1933年 月。

—— 『大正・昭和政治史の一断面——続回想録』西川百子居文庫，1934年9月。

『語りつぐ昭和史——激動の半世紀』1（朝日カルチャーセンター特別長期講座第1期・前半講演記録，1974年4月-5月）・2（同・後半講演記録，1974年6月-7月）朝日新聞社，1975年12月，1976年3月：文庫版，1990年7月。

桂芳男『総合商社の源流 鈴木商店』日本経済新聞社，1977年11月：復刻（増補）版『幻の総合商社鈴木商店——創造的経営者の栄光と挫折』現代教養文庫1296，社会思想社，1989年6月。

加藤隆・秋谷紀男編『金融』（日本史小百科-近代）東京堂出版，2000年7月。

加藤綱一『大宰相 濱口雄幸』文武書院，1929年10月。

加藤俊彦『本邦銀行史論』東京大学出版会，1957年3月。

—— 『日本の銀行家——大銀行の性格とその指導者』新書216，中央公論社，1970年4月。

加藤俊彦編『日本金融論の史的研究』東京大学出版会，1983年2月。

加藤俊彦・大内力編『国立銀行の研究』勁草書房，1963年3月。

『角川日本地名大辞典』編纂委員会・竹内理三編『角川日本地名大辞典』1「北海道 上巻」角川書店，1987年10月。

加藤寛編『福沢山脈の経営者たち』ダイヤモンド社，1984年10月。

神山茂編『相馬哲平伝』財団法人相馬報恩会（函館市湯川町）1961年9月。

亀山恭平『我が家の記』亀山俊吉家所蔵，1942年4月。

樺太庁地方課編『樺太商工名録』豊原印刷社，1931年 月。

川島秀一『漁撈伝承』（『ものと人間の文化史』109）法政大学出版局，2003年1月。

川田稔『原敬と山県有朋』新書1445，中央公論社，1998年10月。

河野常吉『物語北海道史——明治時代編』北海道ライブラリー13，北海道出版企画センター，1978年6月（原典は昭和4年札幌放送局における放送原稿「北海道の今昔」）。

姜克實『石橋湛山——自由主義の背骨』ライブラリー141，丸善，1994年11月。

姜徳相『関東大震災』新書414，中央公論社，1975年11月。

【キ】

北博昭『日中開戦一軍法務局文書からみた挙国一致体制への道』新書1218，中央公論社，1994年12月。

北田悌子『父濱口雄幸』日比谷書房，1932年1月。

橋川武郎『日本電力業の発展と松永安左エ門』名古屋大学出版会，1995年 月。

——『電力事業再編成の歴史的意味』後掲，原編『復興期の日本経済』所収，第7章。

吉川秀造『明治財政経済史研究』法律文化社，1969年3月。

木下宗一『号外昭和史』同光社磯部書房，1948年4月。

木村毅『日本実業家列傳』実業之日本社，1953年6月。

——『西園寺公望』（三代宰相列伝）時事通信社，1958年4月；復刻版（日本宰相列伝5）細川隆元監修，同社，1985年11月。

木村時夫『昭和史を語る』全3巻，早稲田大学出版部，1985年12月，1987年5月，1988年12月。

——『知られざる大隈重信』新書0069，集英社，2000年12月。

京都銀行協会編『銀行——源流と進展』同会，1981年11月。

協和銀行行史編集室編『本邦貯蓄銀行史』1969年 月。

『協和銀行通史』同史編集室編，あさひ銀行（現りそな銀行）1996年6月。

『銀行協会二十年史』同史編集室編，全国銀行協会連合会，1965年11月。

『近代日本社会思想史』I・II（宮沢俊義・大河内一男監修『近代日本思想史大系』第1・2巻）古田光・作田啓一・生松敬三編，有斐閣，1968年11月，71年7月。

『近代日本政治思想史』I・II（同，第3・4巻）橋川文三・松本三之介編，同，1971年2月，70年3月。

『近代日本経済思想史』I・II（同，第5・6巻）長幸男・住谷彦彦編，同，1969年12月，71年3月。

『近代日本法思想史』（同，第7巻）野田良之・碧海純一編，同，1979年12月。

金原左門・竹前栄治編『昭和史—国民の中の波瀾と激動の半世紀』選書871，有斐閣，1982年7月；増補版，同，1989年10月。

【ク】

栗田勇『女人讃歌——甲斐庄楠音の生涯』新潮社，1987年8月。

黒羽清隆『日中15年戦争』上・中・下巻，歴史新書114・117・11，教育社，1977年10月，1978年3月，1979年 月。

——『十五年戦争史序説』上・下巻，選書106・107，三省堂，1984年6月。

桑原真人『近代北海道史研究序説』北海道大学図書刊行会，1982年 月。

【ケ】

現代の眼編集部編『昭和宰相列伝——権力の昭和史』現代評論社，1980年 月。

【コ】

『国民の歴史』18「開国」高橋磯一執筆，文英堂，1970年9月。

——19「明治維新」遠山茂樹執筆，同，1969年10月。

- 20「日清・日露戦争」藤井松一執筆, 同, 1969年12月。
- 21「民主主義の潮流」松尾尊兌執筆, 同, 1968年3月。
- 22「昭和史の開幕」安藤良雄執筆, 同, 1970年5月。
- 23「太平洋戦争」藤原彰執筆, 同, 1970年12月。
- 24「日本再発見」末川博執筆, 同, 1971年5月。
- 鴻上覚一『上川開発史』上川支庁, 1961年1月。
- 小島仁『日本の金本位制度(1897-1917)——円の対外関係を中心とする考察』日本経済評論社, 1981年2月。
- 小島直記『人材水脈——日本近代化の主役と裏方』日本経済新聞社, 1969年5月:文庫版, 中央公論社, 1983年8月。
- 『異端の言説・石橋湛山』上・下巻, 新潮社, 1978年5月。
- 『まかり通る——電力の鬼・松永安左エ衛門』(上「奔馬編」, 下「激動編」2巻) 毎日新聞社, 1973年12月:文庫版, 新潮社, 1982年4月。
- 『松永安左エ門の生涯』「松永安左エ門伝」刊行会(経済往来社内), 1980年10月。
- 『三井物産初代社長』中央公論社, 1981年10月:文庫版, 同社, 1985年1月。
- 『伝記にみる風貌姿勢——男の魅力・勝負の仕方47章』竹井出版, 1982年9月。
- 児玉幸多・井上光貞・永原慶二編『日本の歴史』23「開国」芝原拓自執筆, 小学館, 1975年12月。
- 24「明治維新」田中彰執筆, 同, 1976年2月。
- 25「自由民権」永井秀夫執筆, 同, 1976年3月。
- 26「日清・日露」宇野俊一執筆, 同, 1976年4月。
- 27「大正デモクラシー」鹿野政直執筆, 同, 1976年5月。
- 28「ブルジョアジーの群像」安藤良雄執筆, 同, 1976年11月。
- 29「労働者と農民」中村政則執筆, 同, 1976年7月。
- 30「十五年戦争」伊藤隆執筆, 同, 1976年8月。
- 31「戦後変革」大江志乃夫執筆, 同, 1976年9月。
- 32「現代の日本」江口朴郎執筆, 同, 1976年10月。
- 児玉亮太郎『北海道の拓殖と金融』北海道拓殖銀行, 1907年3月。
- 後藤新一『本邦銀行合同史』金融財政事情研究会, 1968年7月。
- 『日本の金融統計』(金融経済研究所叢書別冊) 東洋経済新報社, 1970年7月。
- 『高橋是清——日本の“ケインズ”』新書273, 日本経済新聞社, 1977年6月。
- 『昭和期銀行合同史——一県一行主義の成立』金融財政事情研究会, 1981年8月。
- 後藤靖編『日本帝国主義の経済政策』柏書房, 1991年6月。
- 小林春男『私の地方銀行論——サウンドバンキングを求めて』金融財政事情研究会, 1996年6月。
- 小林真之『株式恐慌とアメリカ証券市場——両大戦間期の「バブル」の発生と崩壊』北海道大学図書刊行会, 1998年2月。
- 近藤道生『長期信用銀行』大蔵財務協会, 1954年10月。

【サ】

- 『埼玉銀行通史』同史編纂室編, あさひ銀行(現りそな銀行)1993年12月。
- 斎藤仁『旧北海道拓殖銀行論』農林省農業総合研究所, 1957年3月:復刻版, 日本経済評論社, 1999年4月。
- 『北海道農業金融論——旧北海道拓殖銀行を中心とした分析』東洋経済新報社, 1957年6月。
- 坂入長太郎『日本金融制度史』世界書院, 1952年8月。
- 逆井孝仁・保志恂・関口尚志・石井寛治編『日本資本主義——展開と論理』(安藤良雄教授還暦記念論文集) 東京大学出版会, 1978年2月。
- 坂本幸四郎『青函連絡船』朝日イブニングニュース社, 1983年10月。
- 桜谷勝美「戦間期における地方銀行の破綻と再生に関する史料」三重大学『法経論叢』第9巻第1号(1991年 月) 所収。

佐々弘雄『人物春秋』改造社，1933年7月。

佐高信『失言恐慌——ドキュメント・東京渡辺銀行の崩壊』駸々堂出版，1987年6月：改訂版，同出版，1991年7月：文庫版『銀行倒産——ドキュメント金融恐慌』（『失言恐慌』改題）奥村宏解説，講談社，1992年10月：『失言恐慌——ドキュメント 東京渡辺銀行の崩壊』現代教養文庫1568，社会思想社，1995年8月。

『札幌區史』札幌區役所，1911年 月：復刻版，名著出版，1973年 月。

佐藤精編『小熊幸一郎伝』函館商工会議所，1958年6月。

佐藤春夫『わが北海道』井上靖あとがき，新潮社，1964年6月。

佐藤政則「日本銀行の銀行統合構想（1940～45年）」前掲，伊藤ほか編『金融危機と革新』所収，第6章。

佐野真一『渋沢家三代』新書015，文藝春秋，1998年11月。

鯖田豊之『金（ゴールド）が語る20世紀——金本位制が揺らいでも』新書1464，中央公論新社，1999年3月。

更科源蔵『北海道・草原の歴史から』新潮社，1975年8月。

——『北海道の旅』文庫，新潮社，1979年7月。

沢石太編『開道五十年記念北海道』鴻文社（函館区谷地頭町）1921年8月：復刻版『北海道開拓五十年史』出版社・出版年とも不明。

沢口信光『北海道における銀行の展開と発展』北海道教育大学旭川分校（現北海道教育大学教育学部旭川校），1968年7月。

沢田謙『後藤新平傳』大日本雄弁会講談社，1943年7月。

『三和銀行史』同史刊行委員会編，同行（現UFJ銀行），1954年3月。

【シ】

塩田潮『最後の御奉公——宰相幣原喜重郎』文芸春秋，1992年4月。

幣原喜重郎『外交五十年』読売新聞社，1951年4月：復刻版，幣原道太郎解説，原書房，1974年 月：文庫版，佐々木隆解説，中央公論社，1987年1月。

渋谷隆一「わが国高利貸資本の存在形態」金融経済研究所『金融経済』第84号（有斐閣，1964年2月）所収。

——「戦前における金融制度調査会の活動」駒沢大学『経済学論集』第13巻第1号（1981年6月）所収。

——「資本主義の発展と地方資産家（財閥）」地方金融史研究会編『地方金融史研究』第16号（社団法人全国地方銀行協会，1985年3月）所収。

——「金貸地方財閥の展開と銀行」同上誌第18号（1987年3月）所収。

——「金融（金貸）財閥」後掲，渋谷ほか編『地方財閥の展開と銀行』所収，第9章。

——『高利貸金融の展開構造』日本図書センター，2000年3月。

——『庶民金融の展開と政策対応』日本図書センター，2001年7月。

渋谷隆一編『明治期日本特殊金融立法史』早稲田大学出版部，1977年月。

——『大正期日本金融制度政策史』早稲田大学出版部，1987年2月。

渋谷隆一・石山昭次郎・斎藤憲「明治中期の大資産家名簿」地方金融史研究会編『地方金融史研究』第14号（社団法人全国地方銀行協会，1983年4月）所収。

渋谷隆一・石山昭次郎「大正初期の大資産家名簿」同上誌第15号（1984年3月）所収。

渋谷隆一・鈴木亀二・石山昭次郎『日本の質屋』早稲田大学出版部，1982年6月。

渋谷隆一・加藤隆・岡田和喜編『地方財閥の展開と銀行』日本評論社，1989年2月。

渋谷隆一・森武磨・長谷部弘「資本主義の発展と地方財閥——庄内風間家の研究」現代資料出版，2000年6月。

島恭彦『大蔵大臣』新書旧赤版，岩波書店，1949年12月：復刻版，林栄夫（以下8名）編『島恭彦著作集』第3巻「日本財政論」岩波書店，1982年12月所収。

島崎久彌『円の侵略史——円為替本位制度の形成過程』日本経済評論社，1989年8月。

島田俊彦『関東軍——在満陸軍の独走』新書81，中央公論社，1965年10月。

島本融『銀行生誕』ダイヤモンド社，1956年10月。

——『私の銀行経営』有泉社，1964年8月。

——『社員時代』同社，1964年8月。

- 『新 銀行生誕』(北海道銀行行内資料)新銀行生誕刊行委員会, 1970年1月。
- 島本融・楠見一正『獨逸金融組織論』(財政金融研究会紀要第4巻)有斐閣, 1935年6月。
- 島本禮一・富田朝彦編『島本融 人と思ふ』全3巻(第1巻「島本融 その思考」, 第2巻「島本融 その足跡」, 第3巻「島本融 その追憶」)発行者・島本初音, 1977年7月。
- 社会経済史学会編『一九三〇年代の日本経済——その史的分析』(社会経済史学会第49回大会共通論題報告集)東京大学出版会, 1982年4月。
- Jansen, Marius B., *JAPAN AND ITS WORLD—Two Centuries of Change*, Princeton Univ. Press, Princeton, 1980 : 邦訳, M. B. ジャンセン『日本——二百年の変貌』加藤幹雄訳, 岩波書店, 1982年7月。
- 週刊朝日編『値段の明治大正昭和風俗史』上・下巻, 森田優三解説, 文庫, 朝日新聞社, 1987年3月。
- 『値段史年表——明治・大正・昭和』同社, 1988年6月。
- 白井規矩雄『日本の金融機関』森山書店, 1939年6月。
- 白崎秀雄『鈍翁・益田孝』上・下巻, 新潮社, 1981年8月。
- 『当世畸人伝』新潮社, 1987年1月。
- 『耳庵・松永安左エ門』上・下巻, 新潮社, 1990年1月。
- 城山三郎『鼠—鈴木商店焼打ち事件』, 『文學界』(文芸春秋, 昭和39年10月号~41年3月号)連載: 単行本, 文芸春秋, 1966年4月: 文庫, 小松伸六解説, 文芸春秋, 1975年3月: 同『城山三郎全集』第7巻(常磐新平解説, 新潮社, 1980年8月)所収: 同『城山三郎伝記文学選』4(吉村昭解説, 岩波書店, 1998年12月)所収。
- 『男子の本懐』, 『週間朝日』(朝日新聞社, 昭和54年3月23日号~11月23日号)連載: 単行本なし, 『城山三郎全集』第1巻(常磐新平解説, 新潮社, 1980年1月)に初収録: 文庫, 赤松大麓解説, 新潮社, 1983年11月: 『城山三郎伝記文学選』1(京極純一解説, 岩波書店, 1998年10月)所収。
- 新村出編『広辞苑』第1版, 岩波書店, 1955年5月: 第2版, 1969年5月: 第2版補訂版, 1976年12月: 第3版, 1983年12月: 第4版, 1991年11月: 第5版, 岩波書店編集部編, 1998年11月。

【ス】

- 杉原四郎『西欧経済学と近代日本』未来社, 1972年3月。
- 『近代日本経済思想文献抄』日本経済評論社, 1980年3月。
- 『日本経済思想史論集』未来社, 1980年9月。
- 『日本のエコノミスト』(エコノブックス6)日本評論社, 1984年12月。
- 『経済学と経済学者——新しい経済学を求めて』日本経済評論社, 1985年10月。
- 『日本の経済雑誌』日本経済評論社, 1987年8月。
- 『日本の経済思想史家たち』日本経済評論社, 1990年6月。
- 杉原四郎・長幸男編『日本経済思想史読本』東洋経済新報社, 1979年12月。
- 杉本苑子『マダム貞奴』読売新聞社, 1975年1月: 新装版, 1984年11月。
- 『冥府回廊』上・下巻, 日本放送出版協会, 1984年11月。
- 杉本正幸『全国農工銀行発達史』全国農工銀行発達史発行所, 1924年4月。
- 『不動産金融論』巖松堂書店, 1930年 月。
- 鈴木限三『白聖校舎の新しきころ』鈴木限三先生遺稿集刊行会(代表・伊藤秀五郎)編, 新樹社, 1970年10月。
- 鈴木静夫『木曾谷の桃介橋』N T T出版, 1994年3月。
- 鈴木俊夫『金融恐慌とイギリス銀行業——ガーニィ商会の経営破綻』日本経済評論社, 1998年6月。
- 鈴木武雄『世界経済と金解禁問題』新興科学社, 1929年6月。
- 『鈴木武雄——経済学の五十年』発行人・鈴木洋子, 制作・金融財政事情研究会, 1980年6月。
- 『寿都町史』寿都町教育委員会編, 北海道寿都郡寿都町, 1974年3月。
- 『住友銀行史』同史編纂委員会編, 同行(現三井住友銀行)1955年11月。
- 鷺見友好『井上財政の評価について』加藤睦夫・古川哲・良知力・鷺見友好編『現代資本主義と国家』(宇佐美誠次郎教授還暦記念, 有斐閣, 1976年4月)所収。

隅谷三喜男編『昭和恐慌——その歴史的意義と全体像』選書，有斐閣，1974年7月。

【セ】

關根實『濱口雄幸傳』濱口雄幸伝刊行会，1931年3月：復刻版，大空社，1995年 月。

一九二〇年代史研究会編『一九二〇年代の日本資本主義』東京大学出版会，1983年6月。

全国銀行協会連合会編『金融制度』東洋経済新報社，1956年9月。

『全国地方銀行協会五十年史』同協会企画調査部編，同協会，1988年5月。

【ソ】

相馬確郎『朝提灯』（相馬確郎遺稿集）財団法人相馬報恩会，1973年6月。

——『相馬ノート』1927年11月（3日起稿，21日稿了），北海道開拓記念館（札幌市厚別区厚別町小野幌）所蔵。

（よしだ けんいち・本学一般教育部社会系科目担当助教授・貨幣金融論専攻）